

## 1 育成する能力

- ・多様な視点から問題を解決する力
- ・互いの意見を尊重し、認め合う力
- ・身近な課題を自分事として捉え、主体的・能動的に行動する力

## 2 研究概要

### (1) 取り組むSDGsの目標



### (2) 研究主題

「学び合う集団の育成」  
～地域を支え、地域に貢献する次世代の育成～

### (3) 研究仮説

SDGsについて考え、学び合う集団を育成すれば、「多様な視点から問題を解決する力」「互いの意見を尊重し、認め合う力」「能動的に行動する力」が向上し、地域の課題を自分事としてとらえ、地域に貢献する生徒を育成することができるであろう。

## 3 企業・団体との連携

### (1) 連携・協働した企業・団体

- ① 株式会社 東洋精工
- ② 秩父鉄道株式会社
- ③ 株式会社 上武
- ④ 株式会社 パイロットコーポレーション
- ⑤ こま塾
- ⑥ 皆野町役場
- ⑦ 早稲田大学人間科学学術院
- ⑧ 株式会社 ノア

### (2) 連携・協働した主な内容

- ①②株式会社 東洋精工・秩父鉄道株式会社  
町の緑化活動の一環として、ポピーの種まきを行い、町の駅（皆野駅・親鼻駅）にプランターを設置した。
- ③株式会社 上武  
壁画を作成し、会社の入り口等に展示していただいた。
- ④環境学習応援隊（パイロットコーポレーション）  
使用済みペンリサイクル活動の紹介。使用済み筆記具を集めてもらい、分解・分別・分析を体験した。

⑤起業家講座（こま塾 代表 玄間博己氏）

自らの体験から、学ぶことの楽しさや、地域と共にはぐくむことの大切さを語っていただいた。

⑥⑦皆野町役場・早稲田大学人間科学学術院

皆野町の未来を創造しよう～地域の課題を解決し、住み続けられる町づくりを実現しよう～  
地域の人たちと共に皆野町の課題について考え、その解決策について話し合った。

⑧環境学習応援隊（株式会社 ノア）

教室の机を修理してみよう。学習機の天板交換の意義（環境面・財政面）について説明していただき、天板交換作業を体験した。

#### 4 研究内容

##### (1) 研究組織



##### ●授業研究・校外連携部

- ・SDGs の視点を入れた年間計画等作成
- ・授業研究の計画・立案
- ・SDGs の取り組みに関わる校外との調整

##### ●環境整備・広報部

- ・SDGs コーナーの整備
- ・SDGs の取組のまとめ・紹介

##### (2) 取組

###### ○各研究部の取り組み

###### 授業研究・校外連携部

###### (1)SDGs の視点を入れた年間計画等作成

すべての計画に SDGs の視点を入れ、立案・実施した。

キャリア教育「キャリアプランニング能力」の育成  
令和6年度「夢・志発表会」—全員作文と決意発表会—  
(担当：研究主任・進路指導主事・特別活動主任)

1 目的

- (1) 考えをまとめ発表させることで、先を見通して行動する資質や志を立てて自主的に行動する力を養い、キャリア教育におけるライフプランニング能力の向上を図る。
- (2) 少年の主張埼玉県大会・全国大会への参加も視野に入れ、文章を書いたり、発表したりする機会を設けることで、自分の考えをまとめ表現する力を養い、「思考・判断・表現」の能力の向上を図る。

(参考 R5 第45回 少年の主張全国大会)

###### 2 計画

###### (2)授業研究の計画・立案

各教科 SDGs の視点を入れた授業を立案・実施した。



##### 校外学習の実施について

###### 1 行事の目的

- ・集団行動を通じて、望ましい生活習慣や社会性を身に付けさせるとともに、積極的な人間関係の構築を図る。
  - ・皆野町と訪問先を比較し、住み続けられる町づくりについて考えさせる。
- <SDGS の視点>



2024/08/17

起業家講座（こま塾 代表 玄間博己氏）



環境学習応援隊（パイロットコーポレーション）



(4)SDGs コーナーの整備



SDGs にかかわる書籍を充実させ、教室前に置くことで SDGs を身近なものに感じられるようにした。また、手作りのリサイクルボックスを各階に設置した。

(5)SDGs の取組のまとめ・紹介

SDGs コーナーを各階に設置し、本校で行った取組を紹介したり、SDGs について発信したりした。



○各学年の取組

(1)1年 皆野町と他の町を比較しよう

～皆野町と他市町村を比較して住み続けられる町づくりを実現しよう～

皆野町の地形や人口、特産物などについて調べ、まとめたのち、校外学習で見学してきた町と比較することで、皆野町の良さを再発見した。





## (2) 2年 地域の産業について知ろう

～地域の産業を知り、住み続けられる町づくりを実現しよう～

地域資源を活かした産業を行う会社にも協力していただき、職場体験学習を行った。



## (3) 3年 皆野町の未来を創造しよう

～地域の課題を解決し、住み続けられる町づくりを実現しよう～

地域の人たちと共に皆野町の課題について考え、その解決策について話し合った。



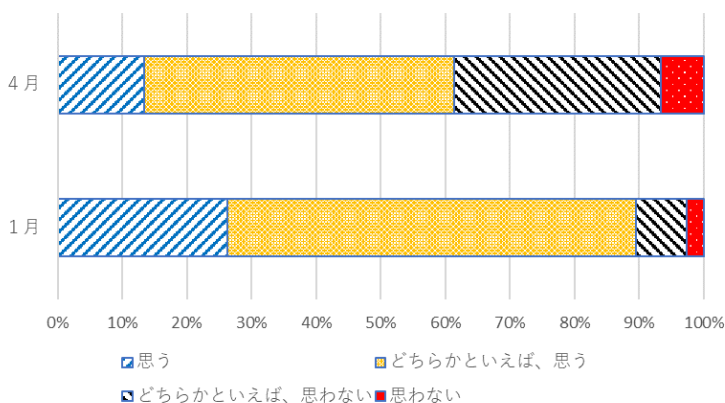
## 5 成果と課題

### ○ 児童生徒の変容（各々の取組の感想より抜粋）

- ・補充用のインクがあると知り、SDGsで地球温暖化対策もできるので、使いたいと思いました。
- ・職場体験を通して、利用される側になってみると目には見えない工夫や優しさがあることを知りました。この経験を普段の生活にも活かしていきたいです。
- ・皆野町の人口減少の現状を知り、町の活性化のために自分のできることを考えたいと思いました。

(参考) 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙結果について

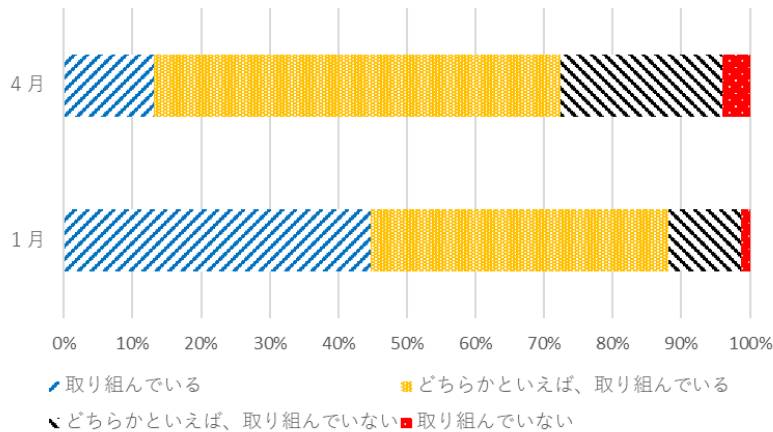
【4】-25 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う



「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」生徒の割合が増加した。

皆野教育シンポジウムで、地域の課題の解決策について、地域の人たちとともに考えたことできた。

【6】-30 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」生徒の割合が増加した。

皆野町の課題について自分事として捉え、住み続けられる街づくりについて考えることができていた。

○ 学校全体の変容

- ・SDGs コーナーの設置や、各取組によって生徒にとってSDGsの取組は身近な物であると感じさせることができた。
- ・学年ごとに皆野町について調べたり、体験したりすることで、身近な課題に対して、自ら考え、主体的に行動を起こす力が高まった。

○ 連携した企業・団体の声

- ・中学生が皆野町のことについてたくさん考えていただく機会は貴重です。インタビューを受けた町職員として現実に寄りすぎた回答になってしまい反省したところでしたが、中学生には、本日の発表でとても良いものに昇華していただき、楽しませてもらいました。
- ・皆野町の中学生が自分たちの住む街をどのように捉え、何を課題に感じているかという現場のリアルな意見を知る非常に有意義な時間でした。
- ・中学生が意見交換の際にとっても真剣な表情で話を聞いていたのが印象深く残りました。地域の若者が地域のことを考えるきっかけや機会をつくることは学校の1つの役割であると再認識することができました。

○ 令和7年度に向けての課題

- ・一時的な取組ではなく、持続可能な取組になるよう仕組み作りに努めていきたい。
- ・皆野町がこれからも「住み続けられる街」になるよう、今後はこの取組から生徒の考えを町に提言できるようにしていきたい。